

LET'S PLAY CURLING!

車いすカーリングのすすめ



一般社団法人 日本車いすカーリング協会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4階
日本財団パラリンピックサポートセンター内

Mobile : 090-9268-3148
Fax : 03-6229-5420
Email : jwc@jwca-est-2017.org

H.P. : <http://jwh-curling.org/>
F.B. : <https://www.facebook.com/Japan.Wheelchair.Curling.A/>



カーリングは技術と伝統のゲームです。

技を尽くして決められたショットは見ると喜びます。また、ゲームの神髄に通じるカーリングの古くからの伝統を見守るのは素晴らしいことです。

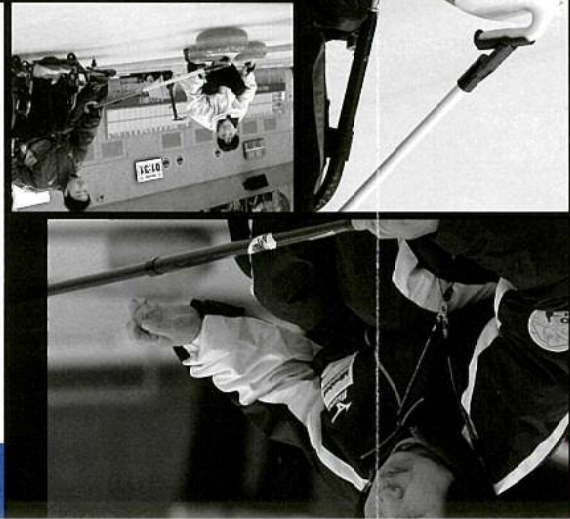
カーラーは勝つためにプレーしますが、決して相手を見くだしたりしません。真のカーラーは相手の気を散らしたり、相手がバーストを尽くそうとするのを決して妨げたりしません。不当に勝つのであればむしろ負けを選びます。

カーラーは、ゲームの規則を破ったり、その伝統を決して軽視したりしません。不注意にもこれが行われていると気がついた場合、その違反を真先に申し出ます。

カーリングゲームの主な目的が、競技者の技術の粋を競うことである一方、ゲームの精神は立派なスポーツマンシップ、思いやり、気持、そして尊敬すべき行為を求めています。

この精神は、アイスに乗っているのに関わらず、ゲームの規則の解釈や適用に生かされるだけでなく、全ての参加者の振る舞いにも生かされるべきものです。

(日本カーリング協会競技規則より)



男女混成の最大5名の選手でチームが構成されますが、氷上でのプレーの際は、必ず男女混合の4名で行います。

投球は、「リート」「セカント」「サード」「フォース」の順番に行い、そのうちの特定の1名が「スキップ」と呼ばれ、投球側と反対のハウス側で石を投げ入れる場所を指示します。

スキップが投球する際は、他の3名のうち「バーストスキップ（バース）」と呼ばれる役割の選手と交代します。

ストーンと呼ばれるハンドルの付いた石を、ホッグライソンの手前からハウスに向かって、フリッパースキップと言う道具を使って投げ入れます。

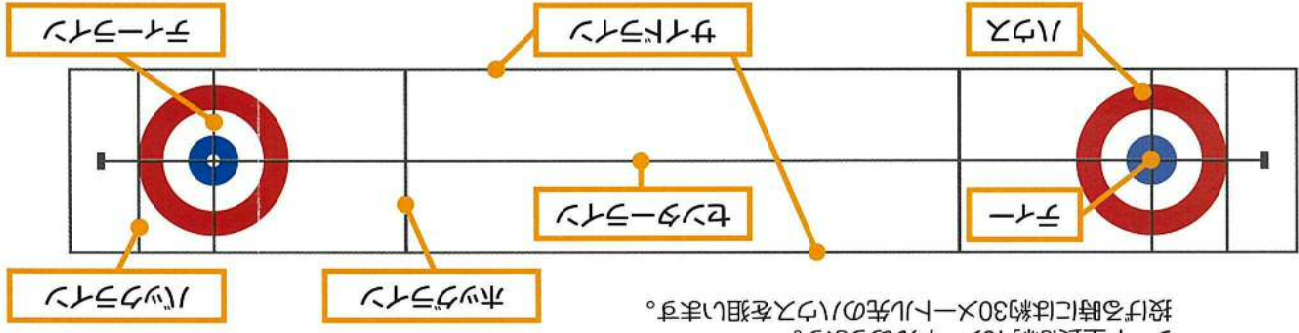
先攻のチームから1エンドにつき一人あたり2つのストーンを交互に1投ずつ投げます。

投げ手は、スキップの指示通りに、ストーンが届くように投げる方向と強さを調整し、回転をかけながらストーンを投げます。(※ハウス側という、氷上を掃く行為は禁止されています。)



シート...ゲームを行うエリアのことです。

シート全長は約40メートルあります。投げる時には約30メートル先のハウスを狙います。



各チーム8個のストーン(計16個のストーン)を全て投げ終えると、1エンドが終了となり、得点を数えます。

ストーンに、より近くにストーンを寄せたチームに得点が入り、相手のストーンより内側にあるストーン合計数が得点となります。

なお、どちらのストーンがストーンから近いのかが分からない場合は、メジャーを使って計測します。

これを8エンド繰り返し、合計点の多いほうが勝利します。